

あいさい

2019
(令和元年)

5

No.170



新時代の幕開け

新元号

「令和」特集

新元号「令和」は、日本最古の歌集『万葉集』からの出典です。古典といえど何だか親しみに感じるかもしれませんが、分かりやすい解説された本もあります。この機会に万葉集の世界に触れてみませんか？

令和

◆現代語訳（中西進著『万葉集』から）
時あたかも新春の好き月、空気は美しく風はやわらかに、梅は美女の鏡の前で花を白粉のことで白く吹き、蘭は身を飾った香の如きか行り来たにたよらせている。

◆書き下し文
初春の今月にして、気淑く風和ぎ、梅は鏡前の粉を吹き、蘭は瓶後の香を薫らす。

◆引用文
「万葉集」巻五、梅花の歌三十二首并せて序
初春今月、気淑風和、梅枝鏡前之花、蘭葉瓶後之香

万葉集入門

木日出男著

万葉集

- P2 || 各種手当のご案内
- P4 || あいさい野菜メニュー提供事業がスタートしました!
- P5 || がん検診などのお知らせ
- P6 || 医療費助成制度(福祉医療)ご存知ですか?
- P7 || ファミリー・サポート・センターのしくみ
- P8 || 総代・消防団員役員の皆様をご紹介します